

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都駅プロジェクト	階数	地上7F、地下1階
建設地	京都市南区東九条東山王町6番・8番1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年1月21日
敷地面積	963.79 m ²	作成者	鈴木
建築面積	699.37 m ²	確認日	2019年1月22日
延床面積	3,958.70 m ²	確認者	細野



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

項目	排出量 (kg-CO ₂ /年・m ²)
①参照値	184
②建築物の取組み	46
③上記+②以外の	138
④上記+	184

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.6

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項		その他
総合 太陽光発電を利用し、環境への配慮を実施したホテル		
Q1 室内環境 ほぼすべての建材においてF★★★★材を採用した	Q2 サービス性能 客室の寝室部分の天井高を2.65mを確保とした。	Q3 室外環境(敷地内) 京都市景観条例に基づいた配慮を行った。
LR1 エネルギー 太陽光発電システムを採用した。	LR2 資源・マテリアル 地域産材を使用した。	LR3 敷地外環境 建蔽率に余裕を持たせた設計とした

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される